



#### 4. 外国語引用符【::～::】

ひと続きに書き表すべき一語中の仮名と外国語引用符の開き記号との間はそのまま続けて書き、外国語引用符の閉じ記号と仮名の間はつなぎ符 (::) をはさんで続けて書く。

ハイ :: g a s :: :: リヨ一	(排 g a s 量)
:: :: G i f t :: :: ケン	(G i f t 券)
:: f a s h i o n :: :: テキ □ ヨ一ソ	( f a s h i o n 的要素)
ボン :: p l a y :: □ ワ □ コマルヨ	(凡 p l a y は困るよ)
アカ :: w i n e ::	(赤 w i n e)
ゲイ :: n o :: :: ジン	(芸 n o 人)
メイ :: s p e e c h :: :: シュー	(名 s p e e c h 集)

#### 5. 英数字列を区切る読点・中点

英数字列を区切る読点や中点は、外文字・大文字およびマスあけ等で区切りが明確な箇所では、省略してもよい。

#### 6. パーセント (%)・アンドマーク (&) の追加

##### (1) パーセント (%) 【:: ::】

墨字の「%」に対応。アルファベットの「P」を用いているので、表記の原則はアルファベットと同じである。符号を使わずに仮名で「パーセント」と書くことも出来る。

:: 1 0 0 :: ::	(1 0 0 %)	スー :: ::	(数%)
:: 5 0 :: :: □ ノ □ ネビキ	(5 0 %の値引き)		
:: 2 5 :: :: :: ビキ	(2 5 %引き)		

また、ページ番号の p を表す時には、%と間違えやすいので、p を前に書くのが一般的である。

:: ~ :: :: :: ~ :: (英文中の p 5)    :: :: :: :: (日本語文中の p 5)

##### (2) アンドマーク (&) 【:: ::】

墨字の「&」に対応。アンドマークの前後は1マスあける。符号を使わずに仮名で「アンド」と書くことも出来る。この符号は日本語文中で用いるものである。英文中の&は「:: ::」と記す。

:: :: Q □ :: :: □ :: :: A	(Q & A)
シャープス □ :: :: □ フラッツ	(シャープス & フラッツ)
ギブ □ :: :: □ テイク	(ギブ & テイク)

## 7. 「する」の切れ続きの変更

- (1) 名詞や副詞に動詞の「する」が続く場合は、「する」の前を1マスあけて書くことを原則とする。

ヘンカ	□スル	(変化する)
ムシ	□シテ	(無視して)
ベンキョー	□シ□ウンドー	□スル (勉強し運動する)
チョーサ	□シナオス	(調査し直す)
ヒット	□シハジメル	(ヒットし始める)
メモ	□セヨ	(メモせよ)
∴1	シュー	□スル (1周する)
ビックリ	□シテ	(びっくりして)
シッカリ	□シロ	(しっかりしろ)
レンジデ	□チン	□スル (レンジでチンする)
オカキ	□シマス	(お書きします)

- (2) 1字漢語に「する」がつくときは続けて書くが、「する」の前に助詞「を」をはさむことが出来る場合は切って書く。

カン	スル	(関する)	アイ	スル	(愛する)
キョー	スル	(供する)	リyak	シテ	(略して)
ラク	□シタイ	(楽したい)	バン	□スル	(番する)

- (3) 和語に「する」が続く語は区切って書くが、和語の自立性が弱いと思われる場合は続けて書く。

タビ	□スル	(旅する)	コイ	□スル	(恋する)
ウワサ	□スル	(噂する)	ココロ	□スル	(心する)
クミ	スル	(与する)	ケミ	スル	(閲する)

- (4) 「する」が続いて音韻変化を起こしたり、「する」が「ずる」になっている語は続けて書く。

タツ	スル	(達する)	メイ	ズル	(命ずる)
----	----	-------	----	----	-------

## 8. 2拍の語の繰り返し

2拍の語の繰り返しは続けて書くが、意味を強めるための繰り返し等は切って書く。

イエイエ	(家々)
ナクナク □ アキラメル	(泣く泣くあきらめる)
ハルヨ □ コイ □ コイ	(春よ来い来い)
アセヲ □ カキ □ カキ	(汗をかきかき)
タバコヲ □ スイ □ スイ	(タバコを吸い吸い)

## 9. 3拍以上の繰り返し

3拍以上の繰り返しは間を1マスあけて書く。ただし、連濁する場合は続けて書く。

オモイ □ オモイ	(思い思い)
オソル □ オソル	(恐る恐る)
ワカレ □ ワカレ	(別れ別れ)
ウツラ □ ウツラ	(うつらうつら)
グデン □ グデン	(ぐでんぐでん)
カエスガエス	(返す返す)
カサネガサネ	(重ね重ね)

## 10. 中点【・】

墨字では、中点がさまざまな用途に使われているが、点字では最低限必要な所にとどめる必要がある。

(1) 重ね数字や略称を表すアルファベットの間では、中点をを用いない。

∴ 7 ∴ 5 ∴ 3 (七・五・三)      ∴ ∴ ∴ NHK (N・H・K)

(2) 語句の切れ目を明らかにするために用いられている中点で、点字のマスあけに置き換えられるものは省略し、1マスあけて書く。

メイド □ イン □ ジャパン      (メイド・イン・ジャパン)  
ゲン □ チバケン      (現・千葉県)

(3) 時刻や日付には使わない。

∴ 2 0 0 4 □ ∴ 5 □ ∴ 2 2      (2 0 0 4 ・ 5 ・ 2 2)

(4) 本来一続きに書く語の中の中点は省略し、一続きに書いてよい。

マスコミ (マス・コミ)      ニューヨーク (ニュー・ヨーク)

## 1 1. 2拍以下の複合名詞

複合名詞の2拍以下の意味のまとまりは、原則として続けて書くが、2拍の外来語を含む混種語は、意味の理解を助ける場合は区切って書いてよい。

プロ□ヤキュー	(プロ野球)
メモ□ヨーシ	(メモ用紙)
ケイサン□ミス	(計算ミス)
コーギ□デモ	(抗議デモ)

♪            ♪            ♪            ♪            ♪

※出典 《点訳のしおり》(平成14年)

日本点字図書館

《点訳のてびき 第3版》(2002年)

全国視覚障害者情報提供施設協会

《点字表記辞典 第5版》(2002年)

視覚障害者支援総合センター

《日本点字表記法 2001年版》 日本点字委員会

《点訳便利帳 2003年版》

点字学習を支援する会・点字表記支援グループ

《日本における英語点字の表記について》

日本点字委員会 ホームページ